



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2021年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	473	12.9	47	—	△3	—	46	—
2020年9月期第1四半期	419	△9.2	△101	—	△101	—	△67	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 48百万円(—%) 2020年9月期第1四半期 △102百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	6.43	—
2020年9月期第1四半期	△9.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,263	958	75.5
2020年9月期	1,420	909	63.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 953百万円 2020年9月期 907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,391	8.9	149	670.1	58	—	19	△61.2

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	7,444,800株	2020年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	259,200株	2020年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	7,185,600株	2020年9月期1Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び健康食品や化粧品等の開発及び販売を中心とする「ヘルスケア事業」の3つです。

当第1四半期連結会計期間（以下、「当第1四半期」）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2020年9月期 (前第1四半期)		2021年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	419	100.0	473	100.0	112.9
金融ソリューション事業	314	75.0	356	75.3	113.4
ビジネスソリューション事業	50	11.9	82	17.4	164.9
ヘルスケア事業	54	13.1	34	7.3	62.8
営業利益又は営業損失(△)	△101	—	47	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67	—	46	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第1四半期の業績は、ヘルスケア事業が減収となったものの、主力の金融ソリューション事業及びビジネスソリューション事業で増収となり、連結売上高は前年同期に比べて54百万円増収の473百万円となりました。また損益面においては営業利益47百万円、持分法適用会社である株式会社デジタルアセットマーケット（以下、「デジタルアセットマーケット」）の持分法による投資損失52百万円を計上したことにより経常損失3百万円、また、デジタルアセットマーケットが第三者割当増資を行ったことにより、持分変動利益61百万円を特別利益として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円となり、前年同期より大幅に業績が改善しております。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	356百万円（前年同期比113.4%）
セグメント利益	130百万円（前年同期は10百万円のセグメント利益）

当第1四半期は、主力製品である『Spider』において持分法適用会社であるデジタルアセットマーケットなどから前期より受注していた案件の導入が進みました。そのため、売上高は前年同期比113.4%増収の356百万円となりました。

また、『Spider』の機能拡張などの受注が順調に積みあがっており、その開発に引き続き注力しておりますが、増収の影響で損益面は前年同期比で大幅増となる130百万円のセグメント利益となりました。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	82百万円（前年同期比164.9%）
セグメント利益	12百万円（前年同期は9百万円のセグメント損失）

自社開発の経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e²』の新規導入案件が売上・利益に貢献し、売上高は前年同期比164.9%の82百万円、セグメント利益は、前年同期9百万円のセグメント損失から黒字転換し12百万円と増

収・増益となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	34百万円	(前年同期比62.8%)
セグメント損失	19百万円	(前年同期は30百万円のセグメント損失)

「ITはなびらたけ」メーカーとしてのビジネス展開に注力するため、前第2四半期連結会計期間中に通販事業を売却した影響により、売上高は前年同期比62.8%の34百万円と減収となりましたが、損益面においては、収益構造が悪化していた事業を切り離し経営資源を集中させたことにより、セグメント損失は、30百万円から19百万円へと改善しました。

女性特有の健康不安に関するサプリメント市場は拡大傾向にあり、これまでの積極的な営業展開により大手企業が更年期女性をターゲットとしたハナビラタケに強い関心を示しており、ハナビラタケの成分同定、作用機序を解明し有効性を訴求していくことにより、大手企業と協業して製品化を目指しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ157百万円減少し、1,263百万円となりました。自己資本比率は75.5%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は245.5%となっています。

(資産)

資産合計1,263百万円のうち、現金及び預金が433百万円(構成比34.3%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金260百万円(構成比20.6%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)106百万円(構成比8.4%)、投資有価証券205百万円(構成比16.2%)となっています。

なお、総資産額が前連結会計年度末に比べ157百万円減少した主な要因は、現金及び預金が93百万円、受取手形及び売掛金が133百万円減少した一方で、仕掛品が52百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計305百万円のうち、短期借入金が100百万円(負債及び純資産に対する構成比7.9%)となっており、当第1四半期連結会計期間中に短期借入金の返済100百万円を行った影響により、前連結会計年度末の負債合計510百万円から205百万円減少しております。

(純資産)

純資産合計958百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,426百万円、自己株式△95百万円、非支配株主持分4百万円となっています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2020年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527,223	433,321
受取手形及び売掛金	393,268	260,260
商品及び製品	24,705	21,999
仕掛品	23,528	75,889
原材料及び貯蔵品	7,040	8,518
その他	58,611	59,223
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	1,034,368	859,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,620	9,187
機械装置及び運搬具(純額)	512	480
工具、器具及び備品(純額)	9,625	19,284
リース資産(純額)	23,106	21,126
有形固定資産合計	42,864	50,078
無形固定資産		
ソフトウェア	8,894	8,940
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	10,142	10,188
投資その他の資産		
投資有価証券	192,159	205,078
繰延税金資産	12,152	10,761
敷金及び保証金	124,440	124,440
その他	15,967	15,289
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	332,868	343,717
固定資産合計	385,875	403,984
資産合計	1,420,243	1,263,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,225	78,078
短期借入金	200,000	100,000
リース債務	9,178	9,178
未払法人税等	28,974	12,291
前受金	14,271	21,460
その他	100,696	61,455
流動負債合計	486,346	282,463
固定負債		
リース債務	17,108	14,322
退職給付に係る負債	7,168	8,378
固定負債合計	24,277	22,701
負債合計	510,623	305,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,472,499	△1,426,324
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	907,469	953,644
非支配株主持分	2,150	4,377
純資産合計	909,619	958,022
負債純資産合計	1,420,243	1,263,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	419,036	473,059
売上原価	295,223	298,457
売上総利益	123,812	174,602
販売費及び一般管理費	224,826	127,403
営業利益又は営業損失(△)	△101,013	47,199
営業外収益		
受取配当金	66	66
助成金収入	—	2,009
雑収入	—	65
その他	41	—
営業外収益合計	107	2,140
営業外費用		
支払利息	393	408
持分法による投資損失	—	52,770
その他	1	9
営業外費用合計	394	53,188
経常損失(△)	△101,300	△3,848
特別利益		
持分変動利益	—	61,147
新株予約権戻入益	220	—
特別利益合計	220	61,147
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△101,080	57,298
法人税、住民税及び事業税	919	7,505
法人税等調整額	—	1,390
法人税等合計	919	8,896
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,000	48,402
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,253	2,226
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,746	46,175

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,000	48,402
四半期包括利益	△102,000	48,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,746	46,175
非支配株主に係る四半期包括利益	△34,253	2,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社デジタルアセットマーケットが、当社グループ外の企業に複数回の第三者割当増資を行ったこと等により、資本剰余金が127,157千円増加しており、当第1四半期連結会計期間末における資本剰余金は996,567千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリュー ション事業	ビジネスソリ ューション事 業	ヘルスケア 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	314,072	50,024	54,939	419,036	—	419,036
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	89	89	△89	—
計	314,072	50,024	55,028	419,125	△89	419,036
セグメント利益又は損失 (△)	10,107	△9,721	△30,032	△29,646	△71,367	△101,013

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△71,367千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリュー ション事業	ビジネスソリ ューション事 業	ヘルスケア 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	356,045	82,508	34,506	473,059	—	473,059
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	356,045	82,508	34,506	473,059	—	473,059
セグメント利益又は損失 (△)	130,969	12,265	△19,282	123,953	△76,753	47,199

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,753千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。